

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3071200830		
法人名	社会福祉法人 皆楽園		
事業所名	グループホームのぞみ		
所在地	和歌山県岩出市山591番地		
自己評価作成日	平成23年4月15日	評価結果市町村受理日	平成23年7月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokohyo-wakayama.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3071200830&amp;SCD=320">http://www.kaigokohyo-wakayama.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3071200830&amp;SCD=320</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル
訪問調査日	平成23年5月13日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が生き生きと暮らし利用者の笑顔が少しでも多く見られるように、また一人一人の個性を大切に生活の中で自分の出来ることを発揮して頂けるよう取り組んでいる。利用者の誕生日には御家族にも声を掛け一緒にお祝いをしたり、利用者の行きたい所ややりたいことなど尋ね支援出来るよう取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは理念の一つに謳われている誰もが利用しやすくなるグループホームを目指して、日々の生活を共にする職員は常に利用者の立場に留意し、自分の親ならどうするかという視点に立って支援に当たっています。車椅子を利用している利用者にも必ず食事時には椅子に移動してもらい、少しでも身体を動かしめりはりのある日常となるような支援を心がけています。また、利用者が日常生活の中で何らかの役割が果たせるよう配慮し、職員は利用者の出来ることを見極め、頼って行く中で利用者の自信に繋がるよう支援しています。食事を始める時も利用者職員が同時に着席し、食事中は職員も席を立たず全員の利用者が会話を楽しめるように配慮するなど、温かくゆったりとした日常が営まれているホームです。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ミーティング時や日々の業務の中でその方にとって何が大切かを話し合う機会を持ち、理念を共有し実践に向けて取り組んでいる。	法人の理念とともにホーム独自の理念と年間目標が作られ、理念に基づき誰もが利用したいホームとは何かと常に考えています。ミーティング時はその人の立場にたってみる、また自分の親だったらと理念の振り返りの姿勢を確認しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物や散歩に出かけた際には、挨拶を交わし交流を持ち、又、自治会に加入し、地域の夏祭りや地域の清掃活動に参加させていただいている。	開設から10年を迎え、買い物や散歩に出かけた時には、顔なじみの地域の方と自然に挨拶も交わしています。ゴミ拾いや祭りなど自治会の行事へも積極的に参加し地域に溶け込んでいます。また、中学生のサマーボランティアの受け入れなども行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議時に支援に関する知識について話している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所から活動状況、入居者の状況、研修会、今後の予定を報告を行い参加者からは質問や意見、要望を受け地域との交流を図りサービスの向上に活かせるように努めている。	会議は、家族や市役所職員、地区会長、民生委員等と地域を代表する多くの方の参加を得て2ヶ月に一度開催しています。ホームの活動状況や予定を報告し、出席者からも多くの意見や情報が出されています。写真で利用者の様子を見てもらったり、市や民生委員から行事や企画の提案なども出され活発に意見交換が行われています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所として密な連携は図れていないが、運営推進会議時にホームの状況や入居者状況を積極的に伝えている。	市の職員が運営推進会議に出席していることで市役所に出向いてホームの状況や相談もしやすく積極的に協力関係の構築に努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング、研修会で話し合い、職員全員で身体拘束のないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修は定期的を実施し、職員の正しい理解に繋がっています。ホームは2階にあり出入り口はセンサーで対応していますが、1階のホーム玄関は内からは簡単に開けられるようになっており、利用者が拘束感を感じないような配慮がなされています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し学ぶ機会を持っている。又、日々のケアについても話し合い虐待防止に努めている。		

グループホームのぞみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加している。又、必要な人には支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な時間をかけ説明している。入居者や家族の不安、疑問点を尋ね同意を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者が意見、不満等言いやすい雰囲気づくりを行い又、家族の面会時や運営推進会議、家族会で意見や要望等話せる機会を持ち、又ご家族に対してアンケートも実施し、出された意見を職場で話し合い反映させている。	年一回開催されていている家族会や、来訪時には出来るだけよく話を聞くようにしています。またアンケートの実施を行い、出された意見の中から誕生日のお祝いに家族の出席を得るなど運営に反映しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時には職員が自発的に意見、質問を出しやすい雰囲気を作り、職場間で話し合い反映させている。	一ヶ月に一度のケース会議を兼ねたミーティングでは、活発な意見が交わされています。例えば夏、冬の一日の時間配分を考慮したり、リスクの高い利用者への対応に向けた勤務体制など、出された意見には速やかに実行できるように取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が力を発揮できる環境作りに努め、人事考課等職員がやりがいや向上心を持てるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外、GHの研修に出来るだけ多く参加できるように働きかけ、研修後はミーティング時に研修内容を伝えフィードバックしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービスケアネット和歌山等研修に参加し交流を図り、サービスの質の向上に努めている。		

グループホームのぞみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で生活状況の把握に努め、ご本人の思いや不安を聴く機会を持ち安心して頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安な思いを聴く機会を持ち、見学や訪問をして頂き雰囲気を見て頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思いや状況を把握し、必要とされている支援を見極め必要なサービスを提供している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りや洗濯物たたみなど生活の中で一緒に行いコミュニケーションを図っている。まず、本人の得意な面を發揮して頂き共に過ごす関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	訪問時や電話などで毎月のご本人の様子や暮らしぶり、体調の変化など細かく伝え、ご家族と一緒に支援できるよう情報を共有し話し合っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎月の寺参りに出かけたり、知人の訪問や慣れた病院に通院している。また、誕生日等にご本人の希望により行きたい所に行けるよう心掛けている。	出来るだけ利用者の今までの生活の継続を重視した支援を心がけている。近くの寺やお不動さんへの月参りの支援の中で知り合いと出会ったり、ボランティアで訪問される地域の方や知人に会えるように支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の会話などから利用者同士どう関わっているか、誰と誰が仲が良いなど関係性について情報を共有し、利用者同士の関係が円滑になるよう働きかけている。		

グループホームのぞみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移られた方にも、遊びに行く等関係を断ち切らず付き合いを大切にしよう心掛けている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、ご本人の言葉や行動から希望や思いを把握するように努めている。また、ご家族から生活歴等の情報を得るように努めている。	入居契約時にはご家族にセンター方式を利用して、今までの生活の状況を聞き意向の把握に繋げています。日常生活の関わりの中では、会話や表情から思いや意向を汲み取れるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し、利用時に家族により記入して頂いたり、訪問時に情報を得るなど暮らし方や生活環境の把握に努めている。また、以前のサービス利用施設との連携をとり把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの暮らし方や生活リズムを知り、日々の行動や、小さな動作から全体の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の希望を聞きながら、ケース会議等で職員全員で話し合い意見交換を行っている。	毎月のケース会議で全職員の意見を聞き検討してケアプランを作成しています。家族にもよく説明をし確認するとともに意見を聞き、必要に応じて医療関係者の意見も聞いています。ケアプランに沿った介護を大切に、介護記録から評価見直しに繋げています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態が分かるように個々の生活記録、申し送りノートへの記録を行い、月1度のケース会議で職員間で話し合い計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に応じて、その日その日で柔軟な支援を行っている。また、状況に応じ職員の勤務時間を変更し対応している。		

グループホームのぞみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	学生の職場体験の受け入れや地域のボランティアの方たちに来ていただく等、地域交流に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族が希望されるかかりつけ医院となっており、受診や通院は希望に応じて対応している。家族が同行不可能な時には職員が代行している。	利用者の入居前のかかりつけ医を大切に継続してもらっています。日常的な健康管理は併設のデイサービスの看護師等に相談に乗ってもらえ、緊急時には主治医や協力医と連携をとり安心の医療体制をとっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設のデイサービスの看護職員と連携を取っており、利用者の状態が変化した時など相談しながら健康管理の支援をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院関係者に日頃の状況など家族と相談しながら情報提供している。また、入院中は職員が頻繁に見舞い、早期退院出来るように支援している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の際には、ご家族と医師と相談し事業所での最大限の対応が出来るよう取り組んでいる。	看取りの対応についての方針は、入居時に本人や家族に説明しています。日常的に医療が必要になってきた時等には、早い段階から家族や職員、その他の関係者とよく話し合い、状況に応じた対応ができるよう取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会や講習会に参加し、急変に対応出来るよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、地域消防団と一緒に避難訓練を行い、消化器の使い方や避難経路の確認を行っている。	消防署立会いのもとに、年2回地域の消防団と共に消防、避難訓練を実施しています。消防団から昼夜を想定した訓練へのアドバイスがあったり、ビデオによる研修も定期的実施して災害に備えています。	

グループホームのぞみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう配慮し、声掛けには注意を払い、さげない声掛けを行っている。	トイレ誘導等に際しては特に誇りやプライバシーに配慮し、耳元での声かけなど職員の意識を徹底しています。日々の生活においても人生の先輩としての言葉、声かけを心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望を聞きメニューに取り入れたり、買い物や入浴等本人の能力に合わせ希望を聞き決定できる場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日により、一人ひとりの状態に合わせて、その人らしい生活を過ごせるようご本人の希望を尊重し安全も考慮しながら柔軟に対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの生活環境に合わせて、出来る方には本人の好みで整えられるように支援し、自己決定しにくい方には選んで頂く等の支援を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの能力に合わせて職員と共に調理、盛り付け、配膳等の支援を行っている。好みを尋ね調理している。	献立から調理に至るまで出来る利用者が出て来ることを職員と共に関わっています。食事は利用者と職員は同じテーブル着き、会話を楽しみ笑い声が絶えない和やかな食事風景となっています。皆で話し合い、おやつ作りや外出先で持参の弁当を食べたり、広い庭でバーベキュー等し、食事を楽しめるよう支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に栄養士に食事内容をチェックしてもらい指導を受けている。一人ひとりの食事を記録し、状態に合わせた水分量の確保等の支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後や就寝時に一人ひとりの状態に合わせた見守りや介助を行っている。		

グループホームのぞみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の時間を記入する事により、排泄リズムを把握して、誘導を行いトイレでの排泄を促している。	それぞれの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を基本にしながら自立に向けた支援をしています。紙パンツから布パンツへ変更できるようになった利用者もおり、自立に向かうことが励みになるよう取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状況を把握し、果物、繊維の多い食物や、乳製品の摂取、軽い運動を心掛け、便秘予防に取り組んでいる。また、主治医に相談し、便秘薬で調整を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入浴して頂ける状態をつくり、ご本人の希望を伺い入浴して頂いている。また、拒否のある方には工夫して入浴を支援している。	入居者の希望に合わせて出来るだけ毎日の入浴を楽しめるように支援しています。利用者同士で入浴を希望されたり、状況や状態に合わせた支援をしています。拒否される方でも職員は工夫を重ね、徐々に入浴の気持ち良さを感じてもらっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりを尊重し、その方のペースに合わせている。寝付かれない方には声かけし、ゆっくり話を傾聴し安心して入眠して頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋に基づき、通院ノート、服薬表に記入し、職員間で共有している。また、生活状況表に服薬を記入し確認を行い、症状の変化により、家族、主治医に相談し対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力や得意なことを活かし食事作りや、洗濯物等日々の生活の中で出来ることをして頂き力が発揮できるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブ、散歩、買い物等の機会を多くつくり、花見や外食、遠足等個別又は皆で楽しめるよう支援している。ご本人の誕生日には希望にそって外出支援している。	日々の近くの地蔵への散歩や階下の畑の出来具合を眺めるなど外に出る機会を大切にしています。花見のドライブや希望によっては衣料品の買い物に出かけたりしています。また、個別支援を取り組み、利用者の誕生日には希望を聞いて行きたいところへ出かけています。	



グループホームのぞみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の了解を得て事業所がお金を預かり管理しているが、欲しい物を購入して頂き、能力に応じて支払いを支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に電話をかけて頂けるように支援している。不安から訴えて来られる時にも支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の食べ物、季節を感じて頂けるように工夫し、安全面など考慮し落ち着いて暮らせるよう空間作りに努めている。	広いリビングには食事のテーブルとは別にゆったり座れるソファも置き、季節の花が活けられ居心地良い空間を作っています。広い廊下には所々に腰かけられる椅子を設置し、少人数でのおしゃべりが楽しめたり、一人になりたい利用者の要望が満たされるよう工夫がなされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	所々にソファや椅子を置き、好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を持ち込んで頂いたり、その人らしく過ごせる居室づくりに取り組んでいる。	居室には洗面台、ベッド、クローゼットが備え付けられています。自宅で見慣れた小物や使い慣れた小さな家具に懐かしさを感じられる物も持参され利用者にとって安らぎの空間となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は段差をなくし、手すりを配置しており、安全な生活を過ごせるようにしており、歩行器や車椅子も状態に合わせて使用して頂いている。		